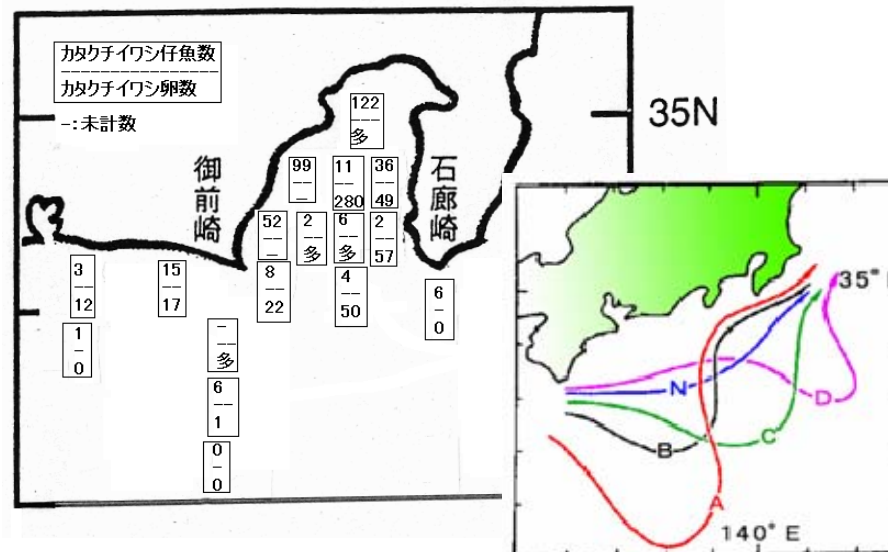
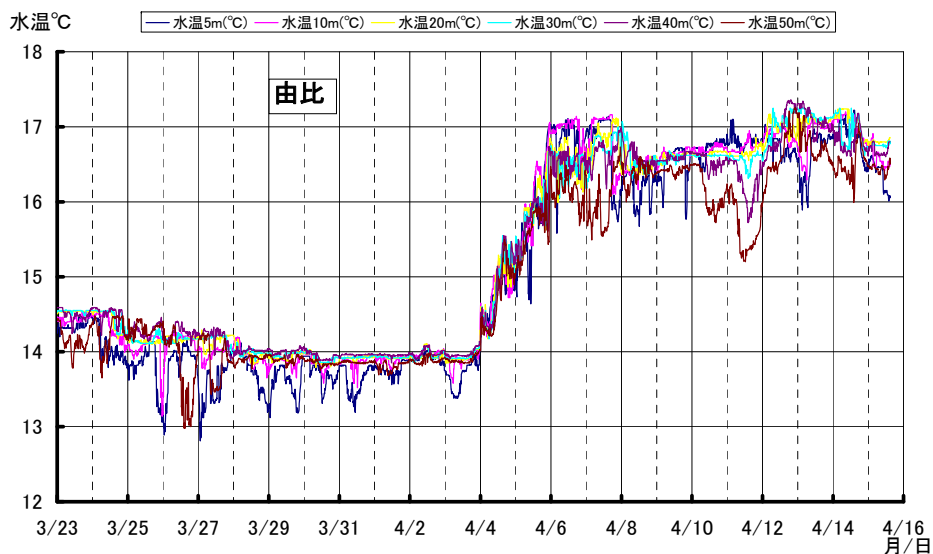


平成22年シラス情報(2)

平成22年4月16日
 静岡県水産技術研究所資源海洋科
 TEL054-627-1817

- 1 3月21日の解禁日以降、4月上旬まで漁況は低迷しています。4月上旬には、下左図に示したように黒潮系暖水が駿河湾内に流入し、水温は14℃弱から17℃弱に上昇しましたが、漁獲対象となるシラスは直接は供給されなかったようです。
- 2 しかし、4月9日以降、駿河湾内西部で散発的に漁場形成があり、暖水波及によって漁獲加入前の小型シラスが供給された可能性があります。
- 3 また、4月5～6日の駿河丸の卵稚仔調査結果(暫定値)を下中図に示しましたが、湾内にはカタクチイワシ卵やシラス加入前の仔魚の分布が見られています。
- 4 一方、FRA-JCOPE*では黒潮流路(下右図)は4月中はC型からD型、5月はN型流路で推移し、沿岸水温の上昇は遅いものと予測されています。
- 5 今年の特徴として、愛知県海面でのイカナゴ豊漁の影響と思われるイカナゴの混獲が遠州灘で見られており、特異現象と見られます。
- 6 シラス漁況にとって2と3はプラス要因、4はマイナス要因となります。今後の動向に注目したいと思います。



*FRA-JCOPEは、漁海況予報の精度向上と資源変動要因解析のための海況情報の充実を図ることを目的に、水産総合研究センターと海洋研究開発機構の共同研究によって開発された海況予測システムです。